

今回の表紙は、富士見公園近くの春の風景です。満開の桜と元気いっぱいに咲き誇る菜の花がとても美しいですね。厳しい冬を越え、今年もたくさんの花を咲かせてくれることでしょう。

今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX番号 048-432-7991

令和6年12月定例会

令和6年12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間で行われ、初日には市長より市政の報告がなされました。

11月29日には、人事案3件を原案のとおり同意、推薦としました。

一般質問では、15人の議員が市政の様々な重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いました（4から11ページ参照）。

最終日には、市長提出議案を原案のとおり可決、承認し、閉会となりました。

12月定例会の主な議案の内容

一般会計補正予算第5号

本補正予算は、令和6年度予算に1,211万4,000円を増額するものです。

公共用地先行取得事業特別会計における中央第一地区まちづくり事業用地等に係る土地購入費の増額に伴い、歳出に対する歳入の不足分を繰り出すため、前年度繰越金を増額し、財源の調整を図るもので

蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算第1号

本補正予算は、令和6年度予算に829万円を増額するものです。

市立病院移転予定である現在の西公民館と松原会館にある敷地と、蕨市総合社会福祉センターにある敷地の間にある幅員6メートルの区画街路について、新病院設計の自由度を確保する理由から、廃止及び事業進捗に伴う区画街路2路線の追加により、さらなる事業の推進を図るものであります。専決処分の承認を求めるについて一般会計補正予算第4号

地方自治法第179条第1項の規定により、令和6年10月7日に専決処分したので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものであります。

専決処分とした理由は、令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の経費について、予算措置に急を要したためであります。

なお、財源は、県委託金を歳出と同額計上しております。

令和7年1月臨時会

令和7年1月臨時会は1月20日に開催され、市長提出議案4件を原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案1件が追加提案され、賛成多数で可決し、閉会となりました。

1月臨時会の主な議案の内容

一般会計補正予算第 6 号

◆物価高騰緊急対策 総事業費 1 億 3,487 万円

蕨市プレミアム付きデジタル商品券

市内消費の活性化による事業者支援や市民の暮らし応援を図るため、スマホ決済ペイペイで使える 30 パーセントのプレミアム付きデジタル商品券を、市内在住の希望者に販売します。申し込み期間は、令和 7 年 6 月 1 日から 30 日まで申込多数の場合は抽選で、大型店を含む登録店舗で使用できます。

ひとり親家庭等物価高騰

重点支援特別給付金

児童扶養手当受給家庭に子ども 1 人当たり 2 万円を給付します。

左記の物価高騰重点支援給付金受給対象外の方。

物価高騰重点支援給付金追加給付

令和 6 年度住民税非課税世帯 1 世帯当たり 3 万円を給付、さらに、18 歳以下の子どもがいる子育て世帯には、子ども 1 人当たり 2 万円が加算されます。

議員提出議案第 1 号

蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例は、市長、教育長の期末手当の支給割合及び職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合に準じ、所要の改正を行おうとするものです。

賛成 しんしょうかい

議員報酬は議会活動及び議員活動の役務に対する対価として支払われるものであり、定期昇給はない。また、議員報酬は国会議員のような生活給である歳費とは異なる。

議員は、日々身を粉にして市民のために働いている自負がある。しかし、議員も生活者である。現在の物価高をはじめとする社会経済情勢の中で、議員も活動の幅を広げていくために議員報酬の引き上げは必要である。それが、ひいては市民にとってより良い結果をもたらすと考える。市民に理解していただける議員活動をしている限り、社会通念上妥当な金額の議員報酬引き上げについては、公平な範囲であると考える。

また、二元代表制である議会と行政は、よく車の両輪に例えられる。それぞれの車輪が同じ大きさでないと運転は難しくなる。今回の引き上げは、市職員はもちろん、市長、教育長等に準じるべきである。提案の趣旨に賛同していただけない場合、供託という方法もある。また、行動で示していくことも申し添え、賛成する。

賛成 公明党

公務員の期末手当を民間の支給状況に見合うよう引き上げる今年度の人事院勧告で勧告された期末手当の支給水準に、議員の期末手当を引き上げることを主旨とする改正案であり、昨今の物価高騰や、これから議員にチャレンジされる若い方々の環境整備にもなり得るものであることから、賛

成する。

反対 日本共産党

議員の期末手当の引き上げの判断については、より慎重で多面的な議論が行われるべきである。現在の市民の所得状況を見れば、議員報酬等の引き上げを行う状況にはないものと考える。社会経済状況及び議員間での議論状況の両面から判断し、議員から引き上げを提案し、議決する段階にないことには明白であると考え、反対する。

反対 無所属（えのもと議員）

市民や有識者等の意見も聞かず、議員報酬等の引き上げを決めてしまうことは全く理解できないため、反対する。

反対 無所属（みやした議員）

議員が自らの報酬を引き上げることは、市民の感情や生活実態に寄り添う姿勢とは言えないと考え、反対する。

反対 日本維新の会

日々節約して生活が苦しい中で、市民は必死に税金を納めていることを踏まえると、据え置くことが望ましいと考え、反対する。

令和6年12月定例会・令和7年1月臨時会における議案等に対する賛否結果

12月定例会

議案第54号 蕨市交通事故及び不慮の災害による遺児扶養年金給付条例の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決

議案第55号 蕨市中高層建築物の建築に係る事前公開及び紛争の調整に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第56号 蕨市道路占用料条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第57号 令和6年度蕨市一般会計補正予算 第5号 全会一致で賛成 原案可決

議案第58号 令和6年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算 第2号 全会一致で賛成 原案可決

議案第59号 令和6年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算 第1号 全会一致で賛成 原案可決

議案第60号 令和6年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算 第1号 全会一致で賛成 原案可決

議案第61号 監査委員の選任の同意について 全会一致で賛成 同意

議案第62号 教育委員会委員の任命の同意について 全会一致で賛成 同意

議案第63号 人権擁護委員候補者の推薦について 全会一致で賛成 推薦

議案第 64 号 工事請負契約の変更契約の締結について 第二中学校屋上防水及び外壁改修工事
全会一致で賛成 原案可決

議案第 65 号 専決処分の承認を求めることについて 令和 6 年度蕨市一般会計補正予算 第 4 号
全会一致で賛成 承認

1月臨時会

議案第 1 号 市長及び副市長の諸給与支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例
の一部を改正する条例

新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○
日本維新の会× 結果原案可決

議案第 2 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○
日本維新の会× 結果原案可決

議案第 3 号 会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○
日本維新の会× 結果原案可決

議案第 4 号 令和 6 年度蕨市一般会計補正予算 第 6 号 全会一致で賛成 原案可決

議員提出議案第 1 号 蕨市議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する
条例

新翔会○ 共産党× 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 無所属（みやした議員）×
日本維新の会× 結果原案可決

※ 議案第 4 号、議員提出議案第 1 号については質疑が、議案第 1 号、議員提出議案第 1 号につ
いては討論が行われました。

質疑、討論の詳細内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になります。

市政を問う！一般質問

12 月定例会では、11、12、13 日の 3 日間で 15 人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

長寿命化した公共施設に限界がきたときの対応

ひき こうじ議員（しんしょうかい）

議員 長寿命化した公共施設に限界がきたときの対応方針をどのように考えているか。

市長 公共施設等総合管理計画では、長寿命化して 70 年使用する取り組みを行っているが、建替え
が必要になったときに、市民体育館や市民会館等の大きな施設は敷地内での建替えが難しいこと
が課題である。市立病院の移転建替えによって、跡地を広い公共用地として保有できることから、
将来は跡地の活用等も見据えていくことも必要だと考えながら、対応に当たっている。

今後も必要な行政需要があった場合には、今ある土地の活用を不斷に検討していきたい。

本市の不動産取引について

議員 市民公園東隣の県所有の旧蕨教職員住宅の払い下げがあり、県から買い取り希望の打診、照会があったと聞く。物件及び買い取り条件の詳細はどのようか。また、どのような手順で決定されたのか。

総務部長 物件については、土地面積が 1,052.07 平方メートル、原則として建物を含めた買い取りが条件で、市が希望する場合は、県が測量等の上、価格が提示されるということであった。県から照会を受けた際に、全庁各課に照会を行ったところ、希望がなかったため、市として買い取り等をしないことを決定したところである。

議員 今後、老朽化した建物の建替え等も検討していく中で、用地は必要だと思う。20 年間公用地としての買い取りがないのは、少し消極的過ぎるのではないか。

地域福祉計画・地域福祉活動計画について

議員 計画策定が県内最後になった経緯はどのようか。

健康福祉部長 福祉に関する様々な課題への取り組みを優先する中で、予算や人材等、相応に割く必要があった。また、令和 2 年度からはコロナ禍で、着手する時期を慎重に見極めてきた結果、最後になったという状況である。

議員 令和に入ってから、数々の地域福祉に関連する制度改正が行われているが、今回の計画の中で、どのように取り入れられているか。

健康福祉部長 子ども、子育て、高齢者、生活困窮者等、近年の主な制度改正については、個別計画を基に最新の改正を反映した上での掲載を予定している。

ほかに、不動産の寄付対応、部課長方針について質問。

無料簡易耐震診断の活用で住宅の耐震化の推進を

おかだ みきお議員（しんしょうかい）

議員 無料簡易耐震診断の周知についてはどのようか。

都市整備部長 建築課の窓口や電話での相談、広報紙や市ホームページで案内するほか、アクションプログラム等を実施している。

議員 無料簡易耐震診断は図面がなくても受けられるか。

都市整備部長 基本的には図面を確認しながらの作業になるため、図面がないと詳細な診断ができないかもしれないが、大体の構造から判断することができる。なお、正式な診断を実施する際は図面が必要である。

議員 現在、本市の無料簡易耐震診断は、昭和 56 年以前の建築物を対象としているが、平成 12 年の新耐震基準まで対象とする自治体も多い。本市でも行う考えはないか。

都市整備部長 まずは旧耐震基準を最優先で進め、今後は進捗状況を見極めながら、他市の状況等も調査し、影響や効果等を研究していく。

議員 平成 12 年まで対象を拡大してほしいと強く要望する。

ぶらっとわらびのルート拡充について

議員 ぶらっとわらびのルート拡充を実施すべきだと考えるが、本市の考えはどのようか。西川口

駅、北戸田駅を停留所として増設してはどうか。

市民生活部長 公共施設等の目的地へのアクセスの向上、乗り継ぎを含めた運行ダイヤの設定、運行事業者との連携等、総合的な観点を踏まえ、さらなる利便性の向上に向けた検討をすべきだと考える。両駅の利用者においては利便性の向上につながる一方、運行本数の減便が課題であり、引き続き調査・研究していく。

議員 國際興業バスとの調整は難しいと思うが、高齢者等の移動手段としてルート拡充の検討推進を要望する。

防犯対策について

議員 防犯カメラの設置状況及び今後の設置予定は。

市民生活部長 市内の街なか防犯カメラの整備台数は、計200基と、他自治体よりも面積当たりの整備台数が多い状況である。今後は、家庭用防犯カメラ設置費補助制度の活用を進め、犯罪抑止力のさらなる向上に努めていく。

議員 先進市では、複合的に防犯カメラを利用し、市民の見守りが行われている。防犯だけでなく、複数分野での課題解決につながるネットワークの仕組みづくりを検討し、複合的な防犯カメラの設置を要望する。

年収103万円の壁について

こばやし りき議員（しんしょうかい）

議員 所得税がかかる年収の最低ラインを引き上げると、勤労者の所得が増える反面、地方自治体の税収減につながると指摘されている。本市における影響額はどの程度か。また、影響を踏まえて財源措置を国へ要望すべきと考える

がどうか。

総務部長 令和6年度当初課税ベースで試算すると、約16億円の影響が生じる。今後、税制改正に向けて具体的な議論がなされるであろうことから、動向を注視しつつ、機会を捉えて必要な要望を行っていきたい。

議員 約16億円あれば、学校トイレの整備や、市民体育館アリーナにエアコンの設置などできるのではないか。手取りが増えて嬉しい一方、市民サービスが減るかもしれないということを理解し、本税制改正にはより慎重な検討が行われるよう要望いただきたい。

障害者に対しての合理的配慮について

議員 合理的配慮の提供が義務化されることについて、どのような認識か。

健康福祉部長 合理的配慮の提供とは、行政機関や民間事業者が、障害のある人から意思表示があった場合に、必要かつ合理的な配慮を講ずることである。法律的な拘束力を持たせ、社会全体に浸透し、提供できる体制を強化するためだと認識している。

議員 障害の有無で分別、判断することは、かえって事実上の障害者差別を助長しかねない。障害者だけを対象とするのではなく、基本的人権の保護を補足するものとして全ての個人を対象とすべきであると考える。

保育士確保への支援について

議員 令和6年3月定例会において「保育士確保の為の支援事業に関する請願」を全会一致で採択

したが、その後の本市の対応はどのようか。

健康福祉部長 令和7年1月に「保育のお仕事面接会＆説明会」を開催するほか、市ホームページに「保育士になるなら蕨市」というページを設け、保育士として働きたい方に向け、支援制度等を紹介するなど、保育士確保に向けた取り組みを行っている。また、今後の方策などについても検討している。

議員 本市から保育士がいなくなってしまうのは困る。打開策を見つけていただきたい。

ほかに「職員のネクタイ着用」「各種会議への携帯電話及びスマートフォンの持ち込み」について質問。

発達障害、精神障害など発達、成長に特徴がある子ども（児童、生徒）へ包括的な支援を
みやした なみ議員（無所属）

議員 行政視察で訪れた奈良県橿原市には、同じ建物内に、幼児療育教室、児童発達支援事業所「かしの木園」があり、「ハートフル ネットワーククリンクノート」、「サポートブックなら」の使用方法や、就学前の発達相談、就学後の教育相談、医師等による相談ができる場所が入っていて、切れ目のない支援体制が目で見て分かる施設があった。発達支援及び障害児福祉サービスにおいて、他部署との連携や支援ネットワークづくり、担い手づくりが重要と考えるが、本市の考えは。健康福祉部長 今年度より地域自立支援協議会を活用して、障害福祉、保育、教育関係機関の情報共有と、担当の異なる職員同士の顔の見える関係構築を図る連絡会を開催し、関係機関の連携強化に努めている。

議員 包括的な支援、他部署との連携等は、今まで議会で要望してきた成果だと感じており、大きな一歩である。「サポート手帳の活用について今まで要望してきたが、「手帳と出会う場をつくる」という視点で、連絡会等でも広めるための検討を要望する。

国（環境省）の窓断熱リフォーム支援、先進的窓リノベ2024事業と本市の住宅リフォーム助成制度について

議員 本市には、住宅リフォーム助成制度があり、多くの市民が利用していると思う。国の先進的窓リノベ2024事業と、本市の制度を併用活用して、これから改修等を検討する市民に周知啓発を行ってほしい。また、本市の住宅リフォーム助成制度は事業効果が高く、申請件数と市内業者の工事費用も伸びている。今後、より多くの市民や市内業者が恩恵を受けられるように予算を増額してほしいが、申請件数と工事費用の推移についてはどのように。

市民生活部長 平成22年度から始めて、令和6年度には申請件数32件、実際の工事額は7千万円以上で、予算額に対し、約28倍程度の効果があり、かなりの需要があると考える。予算については、その他の施策とのバランスを考えていきたい。今後、改修等を検討する方に向けて、両制度の併用活用の周知に努めていく。

ほかに「ピーファス汚染の実態について、市ホームページ等で市民へ広く周知してほしい」と要望。

中央公園と要害通りの未来像について

しょうの こうじ議員（しんしょうかい）

議員 中央公園と要害通りの維持管理の方針や未来像をどのように考えるか。

都市整備部長 中央公園は、樹木管理や施設管理に加え、遊具の劣化度を診断する安全点検を毎年実施している。今後は、施設の更新を行う等、誰もが安全で安心して利用できる快適な公園づくりを進めていきたい。要害通りは、せせらぎの流れの点検、清掃等に加え、樹木管理を実施している。本市にとって貴重な歴史的空間であるとともに、遊歩道は水辺空間、緑化空間としての役割を併せ持つ景観資源である。地域に潤い、憩い、安らぎを提供するコミュニティの核にもなっており、今後も適切な維持管理に努め、将来にわたって引き継いでいく。

議員 中央公園をもっと子どもたちの遊べる公園にできないか。

都市整備部長 施設の老朽化もあるため、今後、リニューアルする等対応していきたい。

議員 たくさんの子どもたちが遊び、地域の人々が楽しめる公園への前向きな検討をお願いする。要害通りは以前、水が残っている状態であることが多かったが、現在はほとんど水が無い。以前のように水を流して、水が残る状態に回復させてほしいと要望する。

シェアサイクル事業について

議員 実証実験終了後、本格実施に移行し、積極的に活用するべきと考えるがどうか。

総務部長 課題を検証するとともに、事業者と協力しながら事業をさらに推進し、まちづくりに生かしていきたい。

議員 本市は自転車の利用が多い地域であり、市役所庁舎の外に、電動空気入れ設置の前向きな検討を要望する。

本市における空き家対策の推進について

議員 現在の空き家の状況及び空き家対策における今後の方針についてはどのようなか。

都市整備部長 空き家に関して、これまでに72件、78棟の相談を受けており、所有者に適正な管理を促すとともに、助言や指導等を行っている。

今後は、特定空き家化を未然に防ぐため、啓発を促すとともに、個別の相談窓口を案内する等、空き家所有者の方の責任ある行動につながるよう、丁寧な対応に努めていきたい。

議員 空き家対策の担当課が分かりにくい。市民に分かりやすい体制をつくっていただき、しっかりととした対応をお願いする。

学校の防災対策について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 防災頭巾は火災には有効であるが、上からの落下物の衝撃には弱く、防災ヘルメットの方が耐衝撃性に優れている。学校側で防災頭巾からヘルメットに変更するときの課題はあるか。

教育長 防災ヘルメットについて検討する際には、製品の特性や安全性を確認した上で、どの製品が適しているか、価格はどの程度か、収納場所等の検討事項が考えられる。

議員 現在、折り畳み式の防災ヘルメットがある。折り畳むと持ち運びができる、リュックサックやランドセルにも入る。いつ起こるか分からない災害に向けて、子どもたちの命を守る防災ヘルメッ

トが一刻も早く配備されることを要望する。

視覚障がい者支援の充実

議員 視覚障がい者にスマートフォンの活用のメリットを周知することについての考えはどのようか。

健康福祉部長 スマートフォンの活用が困り事の軽減や解消に有効な場合には、提案、紹介をしていきたいと考える。なお、本市で実施している無料スマホ教室事業については、視覚障がいのある方も利用可能であり、この事業を有効活用していきたい。

議員 スマートフォンは視覚障がい者にとって重要な生活支援ツールであるにも関わらず利用率が低く、フォローバック体制も含めて課題である。無料スマホ教室事業をさらに周知、啓発してほしい。特にこのような大事な事業の場合は、視覚障がい者に分かるような方法で情報提供をお願いする。

フレイル予防活動で介護費の削減

議員 高齢者の特性を把握し、状況に応じて保健師や管理栄養士等の専門職が必要なアドバイスを行い、支援やサービスにつなげていると思うが、現状はどのようか。

健康福祉部長 個人の状況に応じて、普段の生活の仕方や筋力アップの運動を紹介し、介護予防教室や社会参加等について専門職からアドバイスを行っている。

議員 超高齢化社会に向けて、今後はできるだけ保健師や管理栄養士等の専門職の正規職員を配置することを要望する。フレイル予防・介護予防事業のDX化に向けての考えはどのようか。

健康福祉部長 今後、DX化はますます重要となるため、先進事例等を参考に調査、研究し、実施方法について検討していきたい。

市立保育園の門扉にオートロックシステム等の導入を

ほんだ ていこ議員（公明党）

議員 犯罪から市立保育園の子どもたちの安全を守るために、オートロックシステムやカードキーシステム等を導入し、門扉のセキュリティ対策を強化はどうか。

健康福祉部長 門扉のセキュリティ強化に向け、各園の門扉の形状に合わせて、どのような対策が施せるか調査を行っており、電源が不要で、簡易な工事で施工できる暗証番号式のキーレス錠の取り付けについて検討を行っている。門扉を含めた防犯対策については、以前から意見や要望をいただいており、できる限り対応していきたい。

議員 園児も保護者も保育士も安心して保育園を利用するためにも、厳重なセキュリティ対策が必要である。なるべく早く対応していただきたいと要望する。

子どものインフルエンザ予防接種費用の助成を

議員 子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について、市長の見解は。

市長 子どもの定期接種の種類は増加しており、それに加えて任意接種に対する独自の補助は意義がありながらも、全体の財政状況、優先度を考えていく必要があり、他市の状況等も踏まえて調査・研究していきたい。

福祉やDV等困難な問題を抱える女性の支援の組織体制は

議員 困難な問題を抱える女性の支援は、自治体が幅広い分野で行うこととなる。この支援を進め

るためには、まず組織体制の整備が必要であると考えるが、本市の組織体制をどのようにする考え方。

市長 幅広い支援体制をどう構築していくかは支援を継続しながら鋭意検討し、支援を必要としている方々に寄り添った対応ができる体制の構築を目指していきたい。

議員 相談窓口の周知についてはどのように。

市民生活部長 市ホームページや広報紙、男女共同参画啓発紙「パートナー」に相談窓口を掲載している。また、市庁舎や公共施設の女子トイレにカードサイズの印刷物を設置している。

議員 生理用品を活用して案内カードを配布している事例もある。本市もこのような取り組みを進めてほしい。

ほかに「リトルベビーを育てる母親たちも搾乳ができ、利用しやすい授乳室にすること」を要望。

保育士確保への支援について

すずき しんのすけ（日本維新の会）

議員 本市の保育士不足の現状はどのように。

健康福祉部長 今年度、児童の受け入れ枠を減らすことなく、保育士が配置できている状況にある。ただし、障害児等への加配保育士や休暇の取得、シフト勤務を円滑に行うために、保育士を確保したいという声も伺っている。

議員 都内や近隣市では、保育士確保のために独自で保育士へ支援金の支給等を行っているが、本市は保育士確保策としてどのような対策を行っているか。

健康福祉部長 保育士等の宿舎借り上げを行う保育施設の運営事業者に対し、補助を行うほか、開園から3年間は定員に満たない児童分の保育単価を補助したり、障害児及び要配慮児を受け入れるために加配した保育士分の補助を行う等、本市独自の補助事業を実施している。また、今年度からハローワーク川口及び県社会福祉協議会との共催により、「保育のお仕事面接会＆説明会」を開催するとともに、市ホームページに支援制度を紹介する等、保育士確保に向けた取り組みを実施している。

議員 令和6年3月議会で審議された「保育士確保の為の支援事業に関する請願」が全会一致で採択されたが、保育士への給与の上乗せ支給手当の設立についてはどのように検討したのか。また、今後、保育士確保のためにどのような方策が効果的と考えるか。

健康福祉部長 保育士の給与の原資となる公定価格の地域区分が市町村ごとに設定され、県内では地域区分の高い東京都に隣接している自治体を中心に、都内への保育士の流出を防ぐことを目的に保育士への給与の上乗せ等が実施されている。本市においては、昨年度、保育士不足による受け入れ枠の削減の要望はなく、都内へ保育士が流出するといった状況も伺っていないため、大きな予算を必要とする給与上乗せではなく、費用対効果の高い政策について検討することとしている。

市長 よりよい保育を進めていくために、保育士確保を支援してほしいということが請願の趣旨と考えている。保育園の実情、率直な意見も聞いて、保育士の確保や子どもたちの健やかな成長を支えていきたい。

議員 市と保育園で連携を取りながら、保育士確保に努めてほしい。

塙越地区の課題と塙越ビジョンについて

おおいし けいこ議員（しんじょうかい）

議員 市長マニフェストの東公民館の行政機能強化、塙越ビジョンの進捗状況はどのようか。総務部長要望が多かった大腸がん及び乳がん検診の受診場所に加え、今年度はコバトンアルコウマイレージの登録補助といったサービスを新たに実施している。また、塙越ビジョンの策定に当たり、来年度以降の基礎調査で、ヒアリングやアンケートの実施等、地域の方から意見を聞く機会を検討している。

議員 令和9年度予定の塙越グラウンドの整備工事と代替地の確保はどのようか。

都市整備部長 基本設計においては、利用者の意見を伺いながら検討し、ニーズに対応した施設を整備していく。また、代替地については、他のスポーツ施設を案内するほか、市民公園の一部を一時的に利用する等、検討していきたい。

議員 スマートウエルネスシティのために策定中のアクションプランに、釣り堀になっている塙越プールや市民公園の健康遊具やウォーキングコースの整備はどのように組み込まれているのか。

教育長 中央プールの室内温水化等の検討に向けた庁内検討委員会で、塙越プールの在り方、方向性についても検討しているところである。

都市整備部長 市民の健康づくりにも寄与する健康遊具を増設していく考えであり、ウォーキングコースの設定に合わせて、市民公園を含めた全体的な配置の中で検討していきたい。

議員 塙越地区の外国籍児童・生徒の割合は約2割で、中央小学校内にある日本語特別支援教室における塙越地区の利用者は約35%とのことだが、塙越地区への日本語特別支援教室の増設についての考えはどのようか。

教育長 市内の外国籍児童・生徒数が増加傾向にあることは認識しており、増設や支援員を増やすことについては検討していきたい。

議員 塙越ビジョンは独自性の高いものとして、市民と丁寧な意見交換をしながら、最高のものを作っていただきたい。

ほかに「塙越地区の小学校の統廃合及び小、中一貫教育等について」「塙越地区における排斥デモや街頭宣伝に対する市民の安全・安心」について要望。「帯状疱疹ワクチンの定期接種化」について質問。

物価、地価の高騰と市民への支援について

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 物価高騰に加え、本市では地価の高騰傾向が続く。変動状況はどうか。また、市民生活や営業への影響についての認識はどのようか。

総務部長 平成26年と令和6年の公示地価を市内平均値で比較すると22%程度の上昇。建築資材価格や人件費の上昇など不動産取得に伴う金銭的負担も増加し、影響は大きい。

市民生活部長 駅周辺の店舗で賃料が上がったとの事例を聞く。また、直接的な原因であるか判断

できないが、今年度の商工会議所への飲食店からの相談は増加傾向にある。

議員 織りなすクーポンなど商店などを応援する施策を再び実施する考えはないか。また、立ち退きなどに関わる事例も耳にする。相談体制の拡充など行う考えはないか。

市民生活部長 事業者支援については経済状況を注視し検討したい。商工会議所との連携を密に相談しやすい体制を推進し、事業者に寄り添った実行性のある支援に取り組む。

議員 思い切った対策が必要。市長の見解はどうか。

市長 コロナ禍や物価高騰に対し9回にわたる緊急対策を行い、暮らし・営業を守る施策についても織りなすクーポンなど取り組んできた。実質賃金の状況は食品の値上げなどまだまだ厳しい。

市民生活を守る上で、国も補正予算を活用し、国の事業を迅速に行うとともに、生活や事業所を守る支援を引き続き行っていきたい。さらに、地価の高騰の影響も様々表れている。市が相談窓口としても、専門機関の紹介も含め、身近な地方自治体として全力を挙げたい。奨学金制度などの拡充を

議員 高等教育における学費高騰の影響も深刻。本市の入学資金貸付事業と奨学金貸与事業について、給付制導入を含め拡充する考えはないか。

教育部長 給付型奨学金は、進学のさらなる後押しに向け有効である一方、安定的な財源確保の点で継続的な実施が困難になることを危惧する。

議員 今日の状況は、収入の減少より物価や学費の高騰など負担増が問題。貸付・貸与金額の増額や所得条件、市税納入条件などの見直しを含めたさらなる検討を要望する。

ほかに「市民の願いを活かした市立病院建替え」「多文化共生の取り組みと人権尊重のまちづくり」「『闇バイト』などの犯罪への対応・防犯の取り組み」について質問。

東京都がカスハラ防止条例を制定本市の受け止めは

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 顧客からの理不尽なクレームなどカスタマーハラスメント（カスハラ）を防止する条例が東京都で成立した。本市の受け止めは。市民生活部長条例は事業者への安全配慮義務を明確化し、予防的取り組みを重視した内容となっている。市としても、日頃より商店会や関係団体に確認し実態把握に努めている。

議員 条例の必要性が高まった際には制定を。また、本市職員がカスハラを受ける事例はあるか。

総務部長 一部の来庁者から社会通念上、不相当な行政手続きに係る不当な要求、侮辱や大声で威圧するなどの乱暴な言動、何度も同じ内容を繰り返すクレーム、電話や窓口での長時間の拘束などを受けた事例は把握している。

議員 職員が一人で対応して孤立しないよう、チームで対応してほしい。今回、私の一般質問に際し、担当課が庁内に照会をかけていろいろと分かった。今後の取り組みは。

総務部長 接遇研修を行うとともに、対策要綱・マニュアルの周知に努める。

小・中学校のエアコン計画的な更新（入れ替え）を

議員 平成23・24年度に整備された小・中学校の教室のエアコンはリース契約であり、リース業者が保守等を行っていた。リースアップ後は市に無償譲渡されたが、点検や清掃等はどう行っているか。

教育部長 年に2回、空調機の点検及びフィルター清掃等を行っている。

議員 ブレーカーが落ちて使えなくなることはあるか。

教育部長 気温が40度に迫る危険な暑さの日に、同時使用が要因と思われるブレーカー遮断が起きた事例はあるが、空調整備時には電気使用量等を検討し、必要に応じて受電設備の改修等を行っている。

議員 エアコンが耐用年数を迎えるに当たり市長の考えは。

市長 部分的な改修と全体の更新のどちらかを見極める必要がある。メンテナンス業者等の話を聞く中で、子どもたちの学習に支障のないように備えていきたい。

議員 エアコンは設置して終わりではない。ある日突然、致命的な故障が起きて長期間学習環境に影響が出ることのないよう、計画的な更新（入れ替え）を行ってほしい。

ほかに「103万円の壁の見直しが行われた場合の本市への影響」について質問。

被爆80年、蕨市平和都市宣言40周年にむけて平和行政の推進を

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 令和7年は戦後80年、被爆80年、蕨市平和都市宣言40周年にあたるが、どのような取り組みをしていく考えか。

総務部長 公民館等において、来年度実施を予定している平和事業については、冠事業として事業展開をしていくとともに、記念式典のほか、周年事業としてふさわしい催しの開催について、現在、検討を進めている。

市長 通常行っている事業を継続させながら、節目にふさわしい平和事業を展開していきたい。市立図書館の整備にあたって

議員 図書館の跡地利用で、南町分館として残せる可能性はあるか。新しい図書館の運営形態について、市長の見解はどのようか。

市長 時間延長やレファレンスサービスを行っていくために、運営形態についてはよりよい図書館になるよう引き続き検討していきたい。跡地利用については、検討に向けてこれから府内検討委員会を立ち上げていく段階である。文化芸術のまちにふさわしい整備をしていきたい。

市民要望について

議員 南町第4ファミリー菜園については早急な清掃が必要であるがどうか。

市民生活部長 事業者と清掃日時等について現在調整している（12月12日実施済み）

議員 緑川の県道からJR線路の間（第一中学校裏）の柵の老朽化が激しくなっているので早急な整備を。

都市整備部長 さいたま県土整備事務所からは、県道川口蕨線からJR線路までの老朽化した柵については、今年度中の改修を予定していると伺っている。

議員 空き家や空き地の雑草問題が近隣住民の悩みの種となっているが、相談件数と対応はどのようか。

市民生活部長 昨年度は12件、今年度は11月末現在で12件。所有者の調査を行い、所有者が判明した場合には、不良状態を改善するよう指導する旨の文書を発送している。所有者等に迅速に対

応していただけないケースは、担当者が粘り強く、繰り返し要請を行い、適切な状態に改善するまで取り組みを継続している。

ほかに「包括的性教育とユースクリニックの設置」「子育て支援」について質問。

市立病院の今後に向けた検討を

とちもと よしかね議員（しんしょうかい）

議員 救急ワークステーション設置の検討について、進捗状況はどのようか。

病院事務局長 救急隊と打ち合わせし、必要な資機材を含めて消防隊員が必要なスペースや救急車を常駐させるための場所を確認した。対応できるのであれば、現建物の中で設置、運用をしていきたいと考えている。

議員 検討を進め、さらなる連携強化を図ってほしい。市立病院の経営形態の見直しについてはどのようなようか。

病院事務局長 現在は地方公営企業法の一部適用となっている。全部適用は、経営に関する広範な権限が事務管理者に付与されるため、制度的には効率的、弹力的な運営を行うことが可能になる一方、事業管理者の選任や新たな体制づくりの構築が重要な課題となる。今後の経営状況を踏まえつつ、地方公営企業法の全部適用を視野に入れた検討が必要であると考えている。

議員 しっかりと検討した上で一部適用と全部適用を選択していただきたいと要望する。

ごみステーションについて

議員 資源回収かごの軽量化に向けた取り組みについてはどのようなようか。

市民生活部長 現状のかごは重量があるため、軽量化したネット型容器の試作品を全町会に1台ずつ貸与し、実証実験を行っている。改良を図りながら、本格導入を進める。

議員 ごみを分別する際、かごにQRコードをつけたり、ピクトグラムやマーク等で識別する等の表示方法を提案し、検討を要望する。また、市の公式ラインが導入された際の連携はどのようか。

市民生活部長 QRコードについては導入に向けて検討を進めていきたい。公式ラインについても活用していきたいと考えている。

自転車用ヘルメットの着用について

議員 ヘルメット着用のさらなる促進が必要と考えるが、今後の展望はどのようか。

市民生活部長 県内のヘルメット着用率は、全国平均を下回っており、本市においても着用率のさらなる向上は重要な課題と認識している。引き続き、警察や関係機関と連携しながら粘り強く啓発を行うとともに、自転車用ヘルメット購入費補助制度における各年齢層の申請実績等の状況を分析しながら、より効果的な取り組みを検討する。

市立病院3億円の赤字と建設費高騰の影響

かなまる けんじ議員（しんしょうかい）

議員 全国的にも病院が赤字である。昨年度の一般会計から市立病院への繰入額、及び市立病院の赤字額と診療科ごとの内訳はどのようか。

病院事務局長 繰入額は2億5,627万円、赤字額は約3億1,290万円、診療科ごとの赤字額は人工透析科を含めた内科が約1億7,300万円、産婦人科が約1億1,800万円、眼科が約7,700万円、外科が約5,600万円、小児科が約5,300万円、整形外科が約4,500万円、耳鼻咽喉科が約2,700万円である。

議員 人工透析は、自宅まで車で無料送迎を行うクリニックが近隣にある。市立病院の人工透析科の昨年度の赤字額、及び収支改善の見込みはどのようか。

病院事務局長 赤字額は約3,100万円、収益確保は難しくなってきている。

議員 過去20年間で人工透析を受ける患者数が最大だった年度の患者数、及び昨年度の患者数はどのようか。

病院事務局長 平成22年度が最大で延べ6,130人、令和5年度は延べ2,930人。

議員 現在示されている建設費用約67億円を起債して支払う場合、利息を含めた支払い総額はどのようか。

病院事務局長 償還期間30年で、総額は約87億円となる。

議員 市立病院を維持するためには、一般会計からの繰出金が増えて、新規事業の拡充や公共施設整備などへの影響も起こり得ると感じた。経営改善を続け、病院のオーナーである市民の意見を反映して進めていただきたい。

市の負担を減らし公民連携の推進を

議員 公民連携を更に進める上での課題をどのように考えているか。

総務部長 事業者の確保や新たな事業を進めていく上での財源、及び職員の負担が生じることなどがある。

議員 ソーシャルXという会社では、公民連携をしたい企業を集め、随時情報を更新している。例えば、「介護施設等での誤嚥性肺炎をゼロにする事業」を、企業負担で行うプロジェクトなどがある。公民連携は限られた財源にテコを効かせられる。担当課を越えて進めていただくよう要望する。ほかに「市立病院移転建替えの意義、災害対策、健診機能の充実、赤字解消の具体策」等について質問。

共通認識を持って前に進める！ 市立病院建替えの動向

まえかわ やすえ議員（しんじょうかい）

議員 市立病院の建替え費用は、約68億円とのことだが、積算根拠はどのようか。

病院事務局長 今年度、建替えに向けて設計や工事を実施している近隣の公立病院の建設単価を参考に、平均値で割って1平方メートル当たりの単価を出し、そこに想定延床面積9千平方メートルを乗じて算出している。

議員 医療機器の概算についてはどのようか。

病院事務局長 医療機器については、実際に市立病院にある医療機器を洗い出し、その中で必要性をセクションごとに協議している状況である。最終的には全てセレクトした上で、ある程度の概算を出していけると考えている。

議員 建替え費用への繰り出しが、財政状況に与える影響についてはどのようか。

総務部長 総務省が定める繰り出しの基準においては、病院の建設改良費及び企業債元利償還金の2分の1を一般会計が負担することとされており、財政状況に与える影響は大きくなる可能性が高いと考える。

議員 財政状況や市政運営との兼ね合いを考えた上で、市長の見解はどのようか。

市長 当面する行政課題への対応も必要であり、また、物価高騰が続く中では、引き続きローコスト化に努める必要がある。適宜情報開示をしながら議論し、事業を着実に進めていきたい。

議員 情報共有しながら議論し、皆さんと共に通認識を持って前に進めていきたい。

産後ケア事業について

議員 産後ケア事業は、現在、11施設にまで拡充したが、課題はどのようか。

健康福祉部長 カンファレンスでは、多胎加算のほか、特に通所型の委託料が都内と比べて低いため、運営が難しいこと等の課題が挙げられた。また、通所型や短期入所型の事業所より、委託料増額についての要望が上がっており、適正な委託料の計上を検討していきたい。

地域福祉計画について

議員 地域福祉計画には犯罪者の社会復帰支援が盛り込まれているが、犯罪被害者支援についてはどのようにうか。

健康福祉部長 犯罪被害者の支援についても重要な課題であると認識しており、犯罪被害者等支援条例を制定し、相談窓口を設置する等の取り組みを進めているため、関連する施策についても盛り込むことを検討する。

市議会ホームページから会議録の閲覧、検索ができます

パソコンやスマートフォンなどで、議会の会議録、本会議会議録、委員会記録をご覧いただくことができます。

会議録の閲覧方法

①をクリックすると、会議の種類と開催年を指定することができ、閲覧したい会議録をお選びいただけます。

会議録の検索方法

②をクリックすると、検索語や発言者の種別など、条件を絞り込んで検索することができます。

蕨市議会報告会ユーチューブにて動画を配信中

こちらのQRコードを読み込むと、議会報告会の録画配信や、議会ツアーの動画を視聴することができます。

3月定例会の日程 予定

2月 17 日、月曜日、開会

25 日、火曜日、代表質問

26 日、水曜日、代表質問、議案質疑

27 日、木曜日、議案質疑、委員会

28 日、金曜日、委員会、分科会

3月 3 日、月曜日、委員会、分科会

4 日、火曜日、委員会、分科会

12 日、水曜日、一般質問

13 日、木曜日、一般質問

17 日、月曜日、一般質問

18 日、火曜日、委員会

21 日、金曜日、閉会

※ 議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

12月 13 日、3月発行号の概要、議会報告会について

2月 13 日、3月発行号の最終確認、議会報告会について

編集後記

新しい年を迎えました。2025年は巳年、へびは脱皮をするたびに表面の傷を癒していくことから、医療、治癒、再生のシンボルとされているそうです。

1月には蕨市立病院整備基本構想・基本計画についての答申がなされました。千思万考した後の新しい市立病院の在り方に注目が集まります。

私たち市議会は、引き続き特別委員会など様々な機会を通して議論を進めてまいります。

現在も物価高騰が続いている、依然として生活は苦しい状況ですが、議員一人一人が市民の皆様のご意見やご要望に向き合い、蕨市の発展に取り組んでまいります。

皆様からの想いを是非お届けください。お待ちしております。

広報広聴委員会

委員長、おおいしけいこ

副委員長、かなまるけんじ

委員、みやしたなみ、すずきしんのすけ、おかだみきお、やじまさとこ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしこういち、ふるかわあゆみ